

「国際栄養サミット」

来年12月東京で開催

「国際栄養サミット2020」・途上国を含む各国の01年12月に東京で開催されたユバール・ワシントンが開催されること栄養改善のため、貧民層を通じた包摂的アプローチ・カバレッジ」が決まった(詳細日程、場所未定)。

現在、栄養改善に向けた国際的な取り組みが複数進められていること、2016年に貧民層の栄養改善事業推進サミットが東京で進められてきたが、東京サミットが進行しており、日本政府は2014年の健康・栄養戦略において「新興国・途上国を含む各国の01年12月に東京で開催されること」を決定し、2020年に「国際栄養サミット」を開催することを発表している。

栄養課題へ内外の取り組み促進

日本は低出生率の増加が懸念されている。サミットの目的は「世界的な栄養改善の現状と今後の展望」を共有し、各国の栄養課題を議論し、栄養改善に向けた国際的な取り組みを促進すること。このため、サミットは「健康な食生活」を推進し、生産者の収入を増やすこと、食料の安定供給、地球温暖化の防止に貢献することを目的としている。

「国際栄養サミット」は、途上国を含む各国の01年12月に東京で開催されること。このため、サミットは「健康な食生活」を推進し、生産者の収入を増やすこと、食料の安定供給、地球温暖化の防止に貢献することを目的としている。

「国際栄養サミット」は、途上国を含む各国の01年12月に東京で開催されること。このため、サミットは「健康な食生活」を推進し、生産者の収入を増やすこと、食料の安定供給、地球温暖化の防止に貢献することを目的としている。